

平成 26 年 7 月 16 日 (水)

場所 中組会所

午後 7 時 00 分 開会

1. 委員長挨拶

○竹内元章氏

【挨拶】

2. 作業部会活動報告

○竹内元章氏

【7 月 9 日に作業部会を開催、資料に基づき説明】

【新たに委員に加わったミツカンパートナーズ伊東一博氏紹介】

○伊東一博氏

【挨拶】

3. 意見交換

【資料：JR 半田駅前のまちづくりに記載された 6 つの問題点から 3 つを選択し、グループに分かれ意見交換を行う】

①土地・空き店舗の活用

竹内元章氏、伊東一博氏、竹本久郎氏、加藤まり氏、榊原伸行委員長、鈴木好美委員、榊原市民経済部長

②来街者対応

京才泰直氏、鈴木康史氏、柴田哲治氏、堀場宗雄氏、新美委員、岩田委員、小野田商工観光課長、柘植都市計画課長

③街並み形成

杉木伸行氏、中川副委員長、沢田清委員、笠原建設部長、大松市街地整備課長、大山商工観光課主幹

4. まとめ

①土地・空き店舗の活用（発表者 竹内元章氏）

- ・女性目線で考えたまちづくりが必要
- ・観光の動線のみゆき通りとし、商店を集めるなど、住居と商店を混在させない。
- ・来街者向けの駐車場からみゆき通りまでを観光動線とする。
- ・みゆき通り、新川通りにある細い路地は昔ながらの町屋を活用し女性好みのショップを誘致するなどし、脇道を歩いてもらうことでワクワク感を持たせる。
- ・国、県、市の補助を活かして古い街並みに合った建物を残していく。

②来街者対応（発表者 京才泰直氏）

- ・全体的に和のテイストでお迎えすることを基本におく。既存の店も和の雰囲気につ

た外観作りに取り組んでもらいたい。その為にはメリハリのある支援策も必要。

・通勤者の視点

○朝ごはんを買うために立ち寄る店が無い。

○昼食を食べるお店はあっても、入りにくい店が多い。入りやすくする工夫を行い、店舗を知ってもらう。例えば女性の意見としてオープンにし、お店の中がわかるようにすると安心して入れる。

○このエリアにコンビニエンスストアはないが、必要かどうかは議論を深めるべき。

・観光客の視点

○駐車場はあまり意識しなくてもいいのではないか。いい店がそろえば自ずと解決される。

○現在は駐車場となっている JR 半田駅前の南側の一角を活用して、半田駅前のメインになるように、知多半田駅側から来る方からも、ぱっと目につくゾーンしてはどうか。

・将来構想として、新川通りに柳が植わり、小川を復活させせらぎのある街にしたい。

・来街者全体へのおもてなしとして、安全対策も重要で配慮が必要。

・空き店舗の活用で、アーティストを招いてイベント等を開催してはどうか。

③街並形成（発表者 中川副委員長）

・街並形成にプラスしてある程度地域の歴史を学んで、それに沿ったものをつくるべき。

・現在の街の形はある程度維持しながら街並形成していくべき。

具体案

・ほとんど商業者が住んでいる地域なので、住民よりも商業者が中心になってどのような街並みとするか考えていかないといけない。地区計画も立て、地元主体の協定も有効。

・観光対応の街並みになることが予想される中で、飲み屋横丁のようなものが、繊維会館の横か、中組会所の前にあればいいのでは。

・みんながぱっとみて、あっと思えるような景観を作っていかなければならないのでは。

・クラシック、和の街並みがいいのではないか。

・歩いて通れるように歩道をきちんとつくり、国盛、博物館へ続くようにする。

・末廣亭をシンボルとして残していけるようにしたい。

・新川通りの小川を復活させたい。

○竹内元章氏

違うテーマで話しても重複するところがある。それはやはり必要な部分だと思います。そこを中心に考えながら今後の街づくりを考えていきたいと思います。

5. 次回の活動について

○中川健一副委員長

【8月7日 午後7時から中組会所で実施を確認】

6. 副委員長挨拶

○榊原伸行委員長

今回は7月16日夜7時から予定させていただきたいと思います。

○榊原伸行委員長

【閉会挨拶】

閉会 午後8時35分